

第1号議案

平成29年度 事業報告

(自 平成29年3月1日～至 平成30年2月28日)

本学会の公益目的事業の円滑な遂行を図るため、以下の活動を行った。

1. 役員会・組織運営等に関する事項

- (1) 平成29年度定時社員総会（平成29年3月28日）、於東京海洋大学品川キャンパス大講義室（東京都港区）
 - 1) 平成29年度事業報告の報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び監査報告の承認
 - 2) 増員による平成29年度役員（理事）選任の承認
 - 3) 報告事項

(2) 理事会

平成29年度第1回（平成29年3月11日）、於東京大学農学部3号館4階大会議室（東京都文京区）

- 1) 平成29年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項等の承認
- 2) 企画広報委員会委員交代の承認
- 3) 平成30年度春季大会の日程の承認
- 4) 創立85周年記念事業の資料集の承認
- 5) 水産学シリーズ出版停止後の方向性の承認
- 6) 入会者の承認
- 7) 各担当理事からの報告

平成29年度第2回（平成29年3月26日）、於東京海洋大学品川キャンパス白鷹館多目的スペース(1)（東京都港区）

- 1) 水産教育推進委員会委員交代及び追加の承認
- 2) 企画広報委員会幹事交代の承認
- 3) 入会者の承認
- 4) 各担当理事からの報告

平成29年度第3回（平成29年3月28日）、於東京海洋大学品川キャンパス2号館100A（東京都港区）

- 1) 各理事の担当の決定
- 2) 日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦依頼について対応の承認
- 3) 入会者の承認
- 4) 各担当理事からの報告

平成29年度第4回（平成29年6月17日）、於東京海洋大学品川キャンパス2号館200A-2（東京都港区）

- 1) 平成30・31年度支部幹事の定数の承認
- 2) 平成29年度支部交付金配分額の承認
- 3) 水産学若手の会（特別委員会）の常設委員会への移行の承認
- 4) 水産増殖懇話会委員会委員交代の承認
- 5) 英文書籍監修委員会（特別委員会）委員追加の承認
- 6) 日本水産学会創立85周年記念事業の財務委員会委員追加の承認
- 7) とうきゅう環境財団社会貢献学術賞受賞候補者の推薦依頼の対応の承認
- 8) 三島海雲学術賞受賞候補者の推薦依頼の対応の承認
- 9) 新・英和英水産学用語辞典出版契約及び覚書の承認
- 10) 共催、協賛及び後援依頼の承認
- 11) 日本学術会議主催公開シンポジウム実行委員会の設置及び委員長・副委員長・委員選出の承認
- 12) 日本学術会議公開シンポジウム募金目録見書の承認
- 13) 入会者の承認
- 14) 会員種別変更の承認
- 15) 各担当理事からの報告

平成29年度第5回（平成29年9月21日）、於東京大学弥生講堂アネックス（東京都文京区）

- 1) 日本水産学会創立85周年記念式典における感謝状の贈呈の承認
- 2) 水産学若手の会の常設化に伴う規程の一部改正の承認

- 3) 水産学若手の会委員会運営規程の制定
- 4) 水産利用懇話会委員会委員交代の承認
- 5) 水産増殖懇話会委員会委員交代の承認
- 6) 平成 30 年度春季大会運営委託業者の決定
- 7) 平成 30 年度春季大会募金目論見書の承認
- 8) 平成 30 年度秋季大会日程、場所及び実行委員長の承認
- 9) 会員管理システム保守委託業者の承認
- 10) 平成 29 年度日本農学進歩賞受賞候補者の推薦の承認
- 11) 第 39 回（平成 29 年度）沖縄研究奨励賞受賞候補者の推薦の承認
- 12) 学会誌の出版費用の軽減に向けた Fisheries Science 及び日本水産学会誌の発行に関する方針の決定
- 13) International Symposium “Understanding changes in transitional areas of the Pacific” の協賛金の承認
- 14) 入会者の承認
- 15) 各担当理事からの報告

平成 29 年度第 6 回（平成 29 年 12 月 9 日）、於東京海洋大学品川キャンパス 2 号館 200A-2

- 1) 会費免除の承認
- 2) 理事の職務権限規程一部改正の承認
- 3) 短時間勤務有期雇用職員就業規程一部改正の承認
- 4) 平成 29 年度日本水産学会各賞受賞者の決定
- 5) Fisheries Science 誌 84 巻における会員購読促進の継続の承認
- 6) 理事会主催シンポジウムの承認
- 7) 平成 30 年度日本農学賞受賞候補者の推薦の承認
- 8) 日本農学会会長・副会長・監事候補者の推薦の承認
- 9) 平成 30 年度日本農学会評議員及び運営委員の選出
- 10) 入会者の承認
- 11) 各担当理事からの報告

平成 29 年度第 7 回（平成 30 年 2 月 10 日）、於東京海洋大学品川キャンパス 2 号館 200A-2

- 1) 会員に関する規則一部改正の提案の承認
- 2) 平成 30・31 年度役員（理事及び監事）候補者の決定
- 3) 平成 30 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項の承認
- 4) 平成 30 年度事業計画の承認
- 5) 国際研究・交流資金の積立の承認
- 6) 資金調達及び設備投資の見込みの承認
- 7) 平成 30 年度予算の承認
- 8) 日本水産学会創立 85 周年記念事業の会計処理の承認
- 9) 平成 30・31 年度支部長の承認
- 10) 平成 29 年度日本水産学会論文賞の決定
- 11) 平成 30 年度各種委員会委員長の選出
- 12) 平成 30 年度各種委員会委員の選出
- 13) 学会賞選考委員会内規一部改正の承認
- 14) 共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせの承認
- 15) 平成 30 年度資格喪失者の承認
- 16) 協賛及び後援依頼の承認
- 17) 入会者の承認
- 18) 会員種別変更の承認
- 19) 各担当理事からの報告

(3) 支部

- | | |
|----------|---|
| 1) 北海道支部 | 支部総会 1 回、支部幹事会 1 回 |
| 2) 東北支部 | 支部総会 1 回、支部幹事会 2 回、幹事・連絡調整員合同会議 1 回、支部連絡調整員会議 1 回 |
| 3) 関東支部 | 支部幹事会 1 回 |
| 4) 中部支部 | 支部総会 1 回、支部幹事会 1 回 |

- 5) 近畿支部 支部幹事会 2 回
- 6) 中国・四国支部 支部総会 1 回, 支部幹事会 1 回
- 7) 九州支部 支部総会 1 回, 支部幹事会 1 回
- (4) 委員会
 - 1) 編集委員会 4 回
 - 2) 企画広報委員会 7 回
 - 3) 学会賞選考委員会 2 回
 - 4) シンポジウム企画委員会 4 回 (内 3 回はメール会議)
 - 5) 出版委員会 2 回
 - 6) 水産環境保全委員会 1 回
 - 7) 漁業懇話会委員会 2 回
 - 8) 水産利用懇話会委員会 3 回
 - 9) 水産増殖懇話会委員会 3 回 (内 1 回はメール会議)
 - 10) 国際交流委員会 1 回
 - 11) 選挙管理委員会 1 回
 - 12) 水産教育推進委員会 2 回 (内 1 回はメール会議)
 - 13) 水産技術誌監修委員会 2 回
 - 14) 水産政策委員会 1 回
 - 15) 男女共同参画推進委員会 1 回
 - 16) 財務検討委員会 (特別委員会) メール会議のみ
 - 17) 英文書籍監修委員会 (特別委員会) メール会議のみ
 - 18) 東日本大震災災害復興支援検討委員会 (特別委員会) 3 回 (内 2 回はメール会議)
 - 19) 水産学若手の会 (特別委員会) 10 回 (内 8 回はメール会議)
 - 20) 日本水産学会創立 85 周年記念事業委員会 (特別委員会) 5 回

[公益目的事業 1]

研究発表会及び学術講演会・シンポジウムの開催ならびに研究業績の表彰による水産学の学術の発展と科学技術の振興を推進するため、以下の事業を行った。

2. 研究発表会及び学術講演会等の開催による水産学研究の推進事業 (定款第 4 条 1 項 1 号に定める事業)

(1) 研究発表会

- 1) 春季大会：平成 29 年 3 月 26 日～3 月 30 日，於東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）
 - 大会委員長 菅野信弘
 - 研究発表 口頭 492 題，ポスター 253 題，計 745 題
 - 高校生による研究発表 56 題
 - シンポジウム 3 件 演題 34 題，ミニシンポジウム 4 件 演題 18 題
 - 特別講演 1 件 演題 1 題，講演会 2 件 演題 16 題
 - 平成 28 年度学会賞受賞者講演 11 題
 - 参加者数 名誉会員 5 名，正会員 784 名，学生会員 284 名，賛助会員 62 名，非会員 91 名 計 1,226 名
 - 高校生（含引率教員）約 210 名
- 2) 創立 85 周年記念国際シンポジウム

別記

(2) シンポジウム

春季大会開催時（平成 29 年 3 月 26 日），於東京海洋大学品川キャンパス

- 1) 「福島淡水域における放射能汚染と魚類に及ぼす影響：これまでとこれから」演題 12 題，
企画責任者：中嶋正道・平井俊朗・阪本憲司・鈴木俊二・酒井義文，参加者数 会員 50 名，非会員 8 名，計 58 名
- 2) 「水圏生物タンパク質科学の新展開」演題 12 題，
企画責任者：尾島孝男・落合芳博・豊原治彦・長島裕二・和田律子，参加者数 会員 49 名，非会員 4 名，計 53 名
- 3) 「森川里海のつながりを科学で説明できるか？」演題 10 題，
企画責任者：山下 洋・笠井亮秀・白岩孝行・白山義久，参加者数 会員 55 名，非会員 53 名，計 108 名

(3) ミニシンポジウム

春季大会開催時（平成29年3月30日）、於東京海洋大学品川キャンパス

- 1) 「寄生虫症を宿主の視点から考える」演題 6題,
企画責任者：末武弘章・坂本 崇・伊藤直樹・田角聡志, 参加者数 会員43名, 非会員12名, 計55名
- 2) 「サバ ～資源・養殖・加工・ブランド化をシームレスに繋ぐ若手研究者の集い～」演題 7題,
企画責任者：竹内 裕・橋本加奈子・竹谷裕平・水澤寛太, 参加者数 会員32名, 非会員38名, 計70名
- 3) 「実験・実習再考ー水産化学・食品系で扱うべき内容」演題 6題,
企画責任者：神保 充・大泉 徹・落合芳博, 参加者数 会員36名, 非会員4名, 計40名
- 4) 「水産資源データ解析と予測モデル」演題 5題,
企画責任者：岡村 寛・北門利英・庄野 宏, 参加者数 会員38名, 非会員10名, 計48名

(4) 各支部が行う研究発表会及び講演会

1) 北海道支部

- ①支部大会（平成29年12月9日・10日）、於北海道大学（北海道札幌市）
シンポジウム「みなと（漁港）で、いさり（漁業）を考える」演題 6題,
若手の会企画講演会「トラフグ育苗への代理親魚技術の利用と展開」演題 1題,
一般研究発表 25題, 参加者数 会員62名, 非会員40名, 計102名

2) 東北支部

- ①支部大会（平成29年10月28日・29日）、於福島大学環境放射能研究所（福島県福島市）
ミニシンポジウム「津波と原発事故による水産業への影響と復興への取り組み」演題 8題,
参加者数 会員49名, 非会員3名, 計52名
一般研究発表 18題, 参加者数 47名

- ②支部例会（平成30年2月16日）、於東北大学青葉山キャンパス（宮城県仙台市）

特別講演 1題, 受賞講演 2題, 参加者数 32名

3) 中部支部

- ①支部大会（平成29年12月2日）、於三重大学メディアホール（三重県津市）
シンポジウム「三重県における貝類増養殖の課題と展望」演題 4題,
一般研究発表 ポスター17題, 参加者数 会員35名, 非会員21名, 計56名

4) 近畿支部

- ①支部前期例会（平成29年7月8日）、於京都大学農学部総合館（京都府京都市）
研究テーマに関するプレゼン 10題, 参加者数 30名
- ②支部後期例会（平成29年12月10日）、於京都大学農学部総合館
特別講演 2題, 一般研究発表 口頭11題, 高校生によるポスター5題, 参加者数 会員39名, 非会員41名, 計80名

5) 中国・四国支部

- ①支部例会（平成29年12月2日・3日）、於オルガビル（岡山県岡山市）
ミニシンポジウム「西日本に出現した水生外来生物等の現状と問題」演題 5題,
参加者数 会員19名, 非会員3名, 計22名,
一般研究発表 口頭22題, ポスター12題, 高校生によるポスター5題, 参加者数 会員36名, 非会員30名, 計66名

6) 九州支部

- ①水産・海洋研究若手交流会（平成29年7月29日）、於長崎大学水産学部（長崎県長崎市）
参加者数 58名
- ②支部大会・例会（平成29年12月2日・3日）、於長崎大学水産学部
シンポジウム「海洋生物の生理生態に及ぼす環境変動の影響～今、東シナ海で起きていること～」演題 6題,
参加者数 46名
一般研究発表 19題, 高校生による研究発表 7題, 参加者数 83名

(5) 各委員会が行う研究発表会及び講演会

1) 水産環境保全委員会

- ①シンポジウム（平成29年3月26日）、於東京海洋大学品川キャンパス
「水産環境におけるプラスチックの汚染と影響」演題 11題, 参加者数 会員38名, 非会員42名, 計80名
- ②沿岸環境関連学会連絡協議会への参加
第34回ジョイントシンポジウム（平成29年12月8日）、於けんみんホール（兵庫県神戸市）

- 「我が国における沿岸域環境の現状と問題点、および将来展望」演題 13 題、参加者数 会員 31 名、非会員 94 名、計 125 名
- 2) 漁業懇話会委員会
- ①第 69 回講演会（平成 29 年 3 月 26 日）、於東京海洋大学品川キャンパス
「持続的漁業に最適な漁獲技術とは？～資源回復を向上させるために～」演題 9 題、
参加者数 会員 78 名、非会員 12 名、計 90 名
- 3) 水産利用懇話会委員会
- ①平成 29 年度第 1 回講演会（平成 29 年 7 月 3 日）、於東京海洋大学品川キャンパス
「最新の生命科学による水産物の高品質化とブランド化」演題 2 題、参加者数 会員 16 名、非会員 24 名、計 40 名
②平成 29 年度第 2 回講演会（平成 30 年 2 月 5 日）、於東京海洋大学品川キャンパス
「食品開発を巡る最近のトレンド」演題 2 題、参加者数 会員 14 名、非会員 35 名、計 49 名
- 4) 水産増殖懇話会委員会
- ①平成 29 年度第 1 回講演会（平成 29 年 3 月 26 日）、於東京海洋大学品川キャンパス
「沿岸資源の増殖と管理の最前線—その現状と展望—」演題 7 題、参加者数 会員 41 名、非会員 27 名、計 68 名
②平成 29 年度第 2 回講演会（平成 29 年 9 月 21 日）、於東京海洋大学品川キャンパス
「増殖研究の未来像～水産機構が関わる課題を素材として～」演題 4 題、参加者数 会員 52 名、非会員 34 名、計 86 名
- 5) 国際交流委員会
- ①アメリカ水産学会会長特別講演会（平成 29 年 3 月 29 日）、於東京海洋大学品川キャンパス、参加者数 40 名
Joe Margraf 博士「電子工学を用いた魚類の脂肪含有量測定：生体インピーダンス法（Using electronics to measure fat content of fish: Biological Impedance Analysis）」
- 6) 水産教育推進委員会
- ①勉強会（平成 29 年 3 月 26 日）、於東京海洋大学品川キャンパス
「水産教育推進委員会と全国水産高等学校長協会による情報交換会」参加者数 会員 20 名、非会員 10 名、計 30 名
- 7) 水産政策委員会
- ①シンポジウム（平成 29 年 3 月 26 日）、於東京海洋大学品川キャンパス
「水産資源管理の国際協力—開発途上国にとって有効な水産資源管理アプローチと日本の技術、知見の活用—」演題 10 題、
参加者数 会員 58 名、非会員 10 名、計 68 名
- 8) 男女共同参画推進委員会
- ①談話会（平成 29 年 3 月 28 日）、於東京海洋大学品川キャンパス
「第 2 回 水産学会におけるやさしい男女共同参画」参加者数 22 名
- (6) 日本水産学会創立 85 周年に係る事業
別記
3. 関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業（定款第 4 条 1 項 3 号に定める事業）
- (1) 関連学会等との連携及び協力
- 共催
- 1) 原子力総合シンポジウム 2017
主催 日本学術会議総合工学委員会、日本原子力学会、共催 エネルギー・資源学会 他 47 学協会
平成 29 年 6 月 8 日、於日本学術会議講堂（東京都港区）
- 2) 日本学術会議公開シンポジウム「沿岸地域を再生させるための水産業を考える」
主催 日本学術会議食料科学委員会水産学分会、共催 水産・海洋科学研究連絡協議会 他 3 団体
後援 大日本水産会 他 17 団体
平成 29 年 11 月 6 日、於日本学術会議講堂
- 協賛
- 1) 第 26 回海洋工学シンポジウム
主催 日本海洋工学会、日本船舶海洋工学会、協賛 海洋音響学会 他 31 団体
平成 29 年 3 月 6 日・7 日、於日本大学理工学部磯台キャンパス 1 号館（東京都千代田区）
- 2) 第 59 回中海海底工学フォーラム
主催 中海海底工学フォーラム運営委員会、協賛 日本船舶海洋工学会 他 6 団体
平成 29 年 4 月 14 日、於東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール「ハリコット」（東京都目黒区）
- 3) 第 28 回食品ハイドロコロイドシンポジウム

- 主催 食品ハイドロコロイド研究会, 協賛 化学工学会 他 25 団体
平成 29 年 5 月 16 日, 於東京海洋大学薬水会館 (東京都港区)
- 4) 食品ハイドロコロイドセミナー2017
主催 食品ハイドロコロイド研究会, 協賛 化学工学会 他 25 団体
平成 29 年 5 月 17 日, 於東京海洋大学薬水会館
- 5) 日本応用藻類学会第 16 回大会
主催 日本応用藻類学会,
平成 29 年 5 月 27 日, 於東京海洋大学品川キャンパス
- 6) 第 19 回マリンバイオテクノロジー学会大会
主催 マリンバイオテクノロジー学会, 協賛 化学工学会 他 23 学協会
平成 29 年 6 月 3 日・4 日, 於東北大学青葉山キャンパス (宮城県仙台市)
- 7) 2017 年度生態工学会年次大会
主催 生態工学会, 協賛 照明学会 他 13 団体
平成 29 年 6 月 23 日・24 日, 於東京海洋大学薬水会館
- 8) 第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会
主催 日本アイソトープ協会, 協賛 応用物理学会 他 61 団体
平成 29 年 7 月 5 日～7 日, 於東京大学弥生講堂 (東京都文京区)
- 9) 第 31 回日本キチン・キトサン学会大会
主催 日本キチン・キトサン学会, 協賛 キトサン工業会 他 14 学協会
平成 29 年 8 月 23 日・24 日, 於沖縄コンベンションセンター (沖縄県宜野湾市)
- 10) 第 15 回高付加価値食品開発のためのフォーラム
主催 日本食品・機械研究会, 協賛 日本栄養・食糧学会 他 15 団体
平成 29 年 9 月 15 日・16 日, 於帝人アカデミー富士 (静岡県裾野市)
- 11) 2017 年度日本冷凍空調学会年次大会
主催 日本冷凍空調学会, 協賛 エネルギー・資源学会 他 29 団体
平成 29 年 9 月 26 日～29 日, 於玉川大学教育棟 (東京都町田市)
- 12) 第 17 回基準油脂分析試験法セミナー
主催 日本油化学会, 協賛 日本農芸化学会 他 4 学協会
平成 29 年 10 月 19 日・20 日, 於油脂工業会館 (東京都中央区)
- 13) 第 60 回海中海底工学フォーラム
主催 海中海底工学フォーラム運営委員会, 共催 東京大学生産技術研究所 (生研研究集会),
後援 日本船舶工学会 他 5 団体
平成 29 年 10 月 20 日, 於東京大学大気海洋研究所 (千葉県柏市)
- 14) 第 29 回研究成果発表会
主催 海洋調査技術学会, 協賛 海中海底工学フォーラム 他 19 団体
平成 29 年 10 月 20 日, 於東京大学大気海洋研究所
- 15) 第 58 回高圧討論会
主催 日本高圧力学会, 協賛 名古屋大学大学院工学研究科/未来材料・システム研究所/シンクロトン光研究センター/ナショナルコンポジットセンター 他 49 学協会
平成 29 年 11 月 8 日～10 日, 於名古屋大学 (愛知県名古屋市)
- 後援
- 1) 第 36 回「海とさかな」自由研究・作品コンクール
主催 朝日新聞社 朝日学生新聞社, 後援 文部科学省 他 4 団体, 協賛 日本水産庁, 協力 日本動物園水族館協会
- 2) 平成 29 年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業
主催 岩手県, 協賛 東京大学大気海洋研究所/国際沿岸海洋研究センター 他 3 団体, 後援 宮古市 他 38 団体
- 3) 日本学術会議公開シンポジウム「東日本大震災に係る食料問題フォーラム 2017 環境汚染と内部被曝問題」
主催 日本学術会議農学委員会・食料科学委員会・健康・生活科学委員会合同東日本大震災に係る食料問題分科会, 農学委員会農業経済学分科会, 農学委員会・食料科学委員会合同農芸化学分科会, 農業情報システム学分科会, 食料科学委員会水産学分科会・畜産学分科会・食の安全分科会, 臨床医学委員会放射線防護・リスクマネジメント分科会,
後援 日本農学アカデミー 他 11 団体

平成 29 年 5 月 13 日、於長崎大学ボンベ会館（長崎県長崎市）

4) 日本学術会議公開シンポジウム「海洋生物学の未来社会への貢献」

主催 日本学術会議海洋生物学分科会、共催 東京大学海洋アライアンス、後援 日本海洋学会 他 5 団体

平成 29 年 7 月 25 日、於東京大学小柴ホール（東京都文京区）

5) The 14th International Symposium on Biomineralization（第 14 回国際バイオミネラリゼーションシンポジウム）

主催 バイオミネラリゼーション研究会、後援 日本農芸化学会 他 10 団体

平成 29 年 10 月 9 日～13 日、於つくば国際会議場（茨城県つくば市）

(2) 日本学術会議が行う事業への協力

(3) 日本農学会が行う事業への協力

(4) (公財) 農学会が行う事業への協力

1) (公財) 農学会技術者教育推進委員会委員の派遣

(5) (公社) 日本技術士会 CPD（継続研鑽）行事参加票の配布

(6) 水産・海洋科学研究連絡協議会参加及び代表の派遣

(7) 海外との学術交流等

1) 平成 29 年度日本水産学会春季大会（2017 年 3 月、東京都港区）へのアメリカ水産学会会長の招聘

2) アメリカ水産学会会長の特別講演（2017 年 3 月、東京都港区）の開催

3) アジア水産学会評議員会（2017 年 4 月、台湾・台南）への委員の派遣

4) イギリス諸島水産学会大会（2017 年 7 月、イギリス・エクセター）への会長の派遣

5) 第 147 回アメリカ水産学会大会（2017 年 8 月、アメリカ・タンパ）への会長及び委員の派遣

6) 日本水産学会創立 85 周年記念事業（記念式典（2017 年 9 月、東京都文京区）及び国際シンポジウム（2017 年 9 月、東京都港区））へのアメリカ水産学会会長、イギリス諸島水産学会会長、中国水産学会代表、韓国水産科学会会長、アジア水産学会会長、世界水産学協議会会長及び Fisheries Science の海外エディターの招聘

7) 韓国水産科学会大会（2017 年 11 月、韓国・釜山）への委員の派遣

8) 世界水産学協議会との連携

9) 海外水産関係大会参加型水産教育プログラムの推進

10) 日本水産学会の国際プロモーション

(8) ベルソープックス刊行への協力

(9) 水産技術誌の監修

1) 第 9 巻第 1 号 平成 29 年 3 月 3 日発行

2) 第 9 巻第 2 号 平成 29 年 3 月 17 日発行

3) 第 9 巻第 3 号「アサリ垂下養殖技術特集号」 平成 29 年 3 月 24 日発行

(10) 第 36 回「海とさかな」自由研究・作品コンクールへの協力

1) 募集ポスターやガイドブックの配付、出張授業への講師派遣 4 件及び審査員の派遣

(11) 東日本大震災災害復興支援に関する事業

1) 災害復興支援拠点・東日本大震災災害復興支援検討委員会等による復旧・復興過程の情報収集及びデータ・アーカイブサイトの作成・管理

2) 各支部、各委員会の主催・共催等によるシンポジウム等の開催

3) 震災復興支援に関する各学協会への協力

(12) 男女共同参画活動

1) 男女共同参画学協会連絡会運営委員会への出席

2) 男女共同参画学協会連絡会主催シンポジウムへの出席

4. 研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款第 4 条 1 項 4 号に定める事業）

(1) 日本水産学会における賞の授与

1) 日本水産学会賞 上田 宏 「太平洋サケの母川記銘・回帰機構に関する研究」

佐藤秀一 「持続可能な水産養殖用飼料の開発に関する研究」

2) 水産学進歩賞 遠藤英明 「魚類の健康診断バイオセンサの創出に関する研究」

澤山茂樹 「微細藻・菌類の分子育種等水産微生物学的研究」

長井 敏 「有害・有毒プランクトンモニタリング技術の高度化と応用」

3) 水産学奨励賞 井ノ口 蘭 「魚類の浸透圧調節における鰓塩類細胞の機能形態学的研究」

- | | | |
|-----------|-------|------------------------------------|
| | 黒木真理 | 「ウナギ属魚類の初期生活史に関する生態学的研究」 |
| | 澤山英太郎 | 「家系判別による養殖親魚の形質評価に関する研究」 |
| | 紫加田知幸 | 「赤潮プランクトンの光生物学的解析と赤潮軽減技術への応用」 |
| | 入路光雄 | 「小型浮魚類の生殖内分泌制御機構と繁殖特性に関する研究」 |
| 4) 水産学技術賞 | 木村郁夫 | 「生体内 ATP を利用した高品質冷凍水産物の製造・流通技術の開発」 |
| | 阪倉良孝 | 「海産仔魚の飼育環境制御技術に関する研究」 |

(2) 日本水産学会論文賞の授与

1) 日本水産学会誌 83 巻 2 号 : 163-173 ページ

ミトコンドリア DNA の塩基配列から推測した日本産ニシンの集団構造と個体群動態史

藤田智也, 北田修一, 原田靖子, 石田ゆきの, 佐野祥子, 大場沙織, 菅谷琢磨, 浜崎活幸, 岸野洋久

2) Fisheries Science 83 巻 3 号 : 401-412 ページ

Transcriptome analysis of tetrodotoxin sensing and tetrodotoxin action in the central nervous system of tiger puffer *Takifugu rubripes* juveniles

沖田光玄, 陳 盈光, 佐藤根妃奈, 木下滋晴, 浅川修一, 小島大輔, 山崎英樹, 崎山一孝, 高谷智裕, 荒川 修, 萩原篤志, 阪倉良孝

3) Fisheries Science 83 巻 2 号 : 273-281 ページ

Molecular cloning and expression of the heat shock protein 70 gene in the Kumamoto oyster *Crassostrea sikamea*

永田大生, 鮫島 守, 内川 拓, 長船奈津美, 北野 健

4) 日本水産学会誌 83 巻 4 号 : 599-606 ページ

三重県早田浦におけるガンガゼ除去に伴う海藻植生の変化

石川達也, 戸瀬大貴, 阿部真比古, 岩尾豊紀, 森田晃央, 前川行幸, 倉島 彰

5) Fisheries Science 78 巻 1 号 : 15-22 ページ

Association of early juvenile yellowfin tuna *Thunnus albacares* with a network of payaos in the Philippines

光永 靖, 遠藤周之, 安樂和彦, Cornelio M. Selorio Jr., Ricardo P. Babaran

(3) 各支部・委員会等における表彰

1) 北海道支部

①最優秀講演賞 1 件

②最優秀学生賞 1 件

2) 東北支部

①東北支部長賞 3 件

②水産・海洋系高校生研究発表大会における支部長奨励賞 1 件

3) 関東支部

①春季大会「高校生による研究発表会」における表彰 金賞 4 件, 銀賞 6 件, 銅賞 10 件, 奨励賞 8 件

4) 中部支部

①ベストポスター賞 2 件

5) 近畿支部

①優秀発表賞 2 件

②ポスター賞 1 件

6) 中国・四国支部

①口頭発表優秀賞 2 件

②ポスター発表優秀賞 1 件

③高校生ポスター発表優秀賞 1 件

7) 九州支部

①支部長賞 1 件

②学生優秀発表賞 1 件

③高校生による優秀研究発表賞 1 件

8) 漁業懇話会委員会

①漁業懇話会奨励賞 3 件

(4) 第 36 回「海とさかな」自由研究・作品コンクールにおける日本水産学会会長賞の授与

1) 研究部門 1 件

2) 創作部門 1 件

(5) 平成 30 年度日本農学賞受賞者の推薦

萩原篤志 「動物プランクトンの生物機能研究と水産増養殖への応用」

[公益目的事業 2]

水産学に関する学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる情報提供を通じて、水産学研究の科学技術成果の普及を行うため、以下の事業を行った。

5. 学会誌及び学術図書の刊行による水産学研究の普及事業（定款第 4 条 1 項 2 号に定める事業）

(1) 学会誌の発行

1) 日本水産学会誌第 83 巻 2 号～第 84 巻 1 号まで計 6 冊 [報文 57 編, 企画記事, 会告, 会報等総ページ 1,166 ページ (各号 4,100 部発行)]

2) Fisheries Science 第 83 巻 2 号～第 84 巻 1 号まで計 6 冊 [報文 90 編, 総説等総ページ 1,082 ページ (各号 450 部発行)]

(2) 水産学シリーズの刊行

1) 第 184 号「新技術開発による東日本大震災からの復興・再生」竹内俊郎・佐藤 實・渡部終五編, 400 部発行

2) 第 185 号「地下水・湧水を介した陸一海のつながりと人間社会」小路 淳・杉本 亮・富永 修編, 500 部発行

3) 第 186 号「水産物の先進的な冷凍流通技術と品質制御 高品質水産物のグローバル流通を可能に」

岡崎恵美子・今野久仁彦・鈴木 徹編, 350 部発行

4) 第 187 号「貝毒 新たな貝毒リスク管理措置ガイドラインとその導入に向けた研究」鈴木敏之・神山孝史・大島泰克編, 400 部発行

他号 895 部発行

(3) 英文書籍 Fisheries Science Series の刊行

1) 第 1 巻「Rotifers: Aquaculture, Ecology, Gerontology, and Ecotoxicology」萩原篤志・吉永龍起編, 電子版・オンデマンド印刷版発行

2) 第 2 巻「Application of Recirculating Aquaculture Systems in Japan」竹内俊郎編, 電子版・オンデマンド印刷版発行

(4) 日本水産学会誌の J-STAGE 上における公開

別記

日本水産学会創立 85 周年記念事業

(1) 記念式典

平成 29 年 9 月 21 日, 於東京大学伊藤国際学術研究センター (東京都文京区)

式辞, 祝辞, 感謝状の贈呈, 参加者数 93 名

(2) レセプション

平成 29 年 9 月 21 日, 於東京大学伊藤国際学術研究センター

参加者数 86 名

(3) 国際シンポジウム「Fisheries Science for Future Generations」

平成 29 年 9 月 22 日～24 日, 於東京海洋大学品川キャンパス

シンポジウム実行委員会 委員長 佐藤秀一

研究発表 口頭 407 題 (基調講演 3 題, 招待講演 48 題), ポスター 289 題

参加者数 935 名 (留学生含む日本 606 名, 外国 329 名), 参加した国と地域数 31

1) 基調講演

「Japan's Fishing Tradition and Fishery Science: an Overview」八木信行 博士

「The Way Out of Marine Fisheries under Global Change」Xianshi Jin 博士

「The Role of Biotechnology in Sustainable Aquaculture」Yonathan Zohar 博士

2) 水産学若手の会主催イブニングセッション

平成 29 年 9 月 22 日, 於東京海洋大学品川キャンパス

演題 基調講演 1 題, 口頭 24 題, ポスター 9 題, 参加者数 53 名, 参加した国と地域数 7

3) パンケット

平成 29 年 9 月 23 日, 於グランドプリンスホテル高輪 (東京都港区)

参加者数 288 名

4) ベストポスター賞 34 件

(4) デジタル版「新・水産学用語辞典」日本水産学会編 800 部発行及びホームページ上における公開

- (5) 水産研究の動向の編纂
- (6) 資料集の編纂
- (7) 記念事業委員会
- 国際シンポジウム実行委員会8回
- プログラム委員会1回
- 研究の動向編集委員会2回（メール会議）
- 資料編纂委員会6回（メール会議）
- デジタル版水産学用語辞典編集委員会2回（メール会議）
- 記念式典委員会6回
- 募金委員会5回
- 財務委員会5回

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

会 員 数 異 動 状 況（種別会員数）

種別	平成 28年度末 現在数	平成29年度異動								平成 29年度末 現在数	平成30年3月1日現在				
		入会	種別変更		死亡	退会	会員資格 喪失	除名	平成30年 度より入会		種別変更		現在数		
			入	出							入	出			
正会員	名 2,805 (63)*	名 82	名 16 (7)*	名 2 (0)*	名 7 (1)*	名 131 (0)*	名 19 (0)*	名 0 (0)*	名 2,744 (69)*	名 63	名 16 (12)*	名 2	名 2,821 (81)*		
団体会員	150	2	0	0	0	4	0	0	148	0	0	0	148		
賛助会員	68	2	0	0	0	2	0	0	68	1	0	0	69		
外国会員	73	14	0	1	0	1	17	0	68	12	0	1	79		
学生会員	193	186	2	15	0	229	0	0	137	151	2	15	275		
名誉会員	21	0	0	0	1	0	0	0	20	0	0	0	20		
合 計	3,310	286	18	18	8	367	36	0	3,185	227	18	18	3,412		

平成30年3月1日現在支部別会員数（正会員・学生会員）

種別	支部	北海道	東 北	関 東	中 部	近 畿	中国・四国	九 州	合 計
正会員	名	名	名	名	名	名	名	名	名
	303	211	903	411	246	349	398	2,821	
	(8)*	(6)*	(35)*	(11)*	(9)*	(4)*	(8)*	(81)*	
学生会員	40	17	89	28	34	27	40	275	

*: 正会員のうち会員に関する規則第5条が適用される会員を示す。